

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	当院における局所進行肺癌に対する <i>Extended sleeve lobectomy</i> の治療成績
	研究目的	局所進行肺癌に対し、一側肺をすべて摘出する肺全摘を回避するため気管支形成術という難度の高い術式が施行されているが、この中でもさらに切除範囲が大きく難度の高い <i>Extended sleeve lobectomy</i> (拡大気管支形成術) はさらに稀な術式である。当院ではこの難度の高い術式で患者様の肺を極力温存することを意識しているが、この術式の手術前後および長期予後成績を解析しその有用性を検討する。
	研究対象者	2009年1月より2019年12月までの間に当院で局所進行非小細胞肺癌に対し拡大気管支形成術を施行された19症例、およびその対照として同時期に当院で局所進行非小細胞肺癌に対し肺全摘術を施行された11症例
	研究期間	西暦 2020年5月11日～西暦 2021年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	足立 広幸
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	神奈川県立がんセンター 呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし